



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いただ
けます。▶



4

2023年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



二月十六日(木)、同友会事務所・会議室を会場に「共育委員会例会」を開催。「社員が育たない会社に未来はない!?」苦難な時代にこそ人材共育の投資が活きる」と題して、パネリストスキャションやグループ討論などを通して学び合いました。

パネリストを務めたのは、いずれも同友会の各種社員研修会を活用する(株)サンエイ・中西氏(太田支部)、中央キャリアネット(株)・小池氏(前橋支部)、(株)中島・中島氏(伊勢崎支部)。ファシリテーターの共育委員会・山崎副委員長(南山崎製作所/高崎支部)の軽快なリードにより、パネリスト三名が考える研修会の意義や参加しての本音、社内における変化などに迫りました。

その後のグループ討論では「自社の中で、どう共育を取り入れていきますか?」をテーマに意見交換。「社員教育とは仕事のやり方を教えることではない」「まずは経営者の教育に対する姿勢であり、それが何よりも大事」「企業の永続には人材育成が不可欠。地道に取り組んでいくしかない」などの意見が、それぞれのグループで活発に交わされました。

共育委員会では、新入社員研修会、新入社員フォロー研修会、伸び盛り社員研修会、幹部社員(及び幹部候補)研修会など、各階層で必要となる研修会を年間を通して体系的に開催しています。「経営者と社員が共に育つ」を基本とした同友会の各種社員研修会に、ぜひご参加ください!



社員が育たない会社に未来はない!?

共育委員会例会

学生の本音が聞ける交流会 企業×学生 本音トーク

青年部

二月十五日(水)、アメイジンググレイス前橋を会場に、青年部設営による「企業×学生本音トーク」を開催。自身の第一印象を知るワークショップやワールドカフェ形式の交流会が行われました。昨年十月に開催された三回目につき、今回の参加者は企業側二十二名・学生側二〇名の総勢四十二名。

第一部／第一印象ワークショップでは、自身の思う自分の性格と、他人から見る客観的な自分の性格を「ジョハリの窓」を用いて分析しました。また、第二部／企業×学生意見交換交流会は、飲食を楽しみながらワールドカフェ形式で行われ、情報交換や意見交換、あるいは悩み相談やアドバイスなど、各テーブルでざくばらんな本音トークが繰り広げられました。今回も数多くの学生さんが企画運営に関わってくれた「本音トーク」。今後参加する学生の輪、企業の輪が広がり、さらなる発展が期待されます。



当事者の就労体験報告

障害者雇用委員会

障害者雇用委員会では、三月三日(金)、Gメッセ群馬を会場に「障害者雇用・当事者の体験報告」と題して勉強会を開催しました(高崎支部・富岡安中支部協賛)。これまで委員会では、障害者雇用に取り組み企業や支援機関の方の報告を基に学んできましたが、障害を持つ当事者の体験報告は初めての試みとなります。

参加者からは「自分と他人の当たり前が違うことを改めて考えさせられた」「理解ある支援者との出会いが未来を変える」「勇気のある報告にこちらが勇気もらった」「病状を報告しなくても就労できる事が当たり前な会社を目指したい」といった感想が記されていました。

ストレスから精神疾患(うつ)を

患い、それまでの当たり前を失う事になった経緯や闘病生活、支援機関や企業のサポートを受けながらの就労といった赤裸々に語られる体験は、参加者の心に深く突き刺さり、それぞれの「当たり前」を考え直す機会となりました。



今お使いの会計ソフトを
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド予算実績管理ツール



YOJITSU

<https://yojitsu.net/>



同友会
高崎支部会員

株式会社

シスプラ



0120-638-377

アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2

TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059

URL: <http://www.apm-f.com> E-mail: fuse@apm-f.com

万が一の事が起きた時 会社はどうするの？

鶴の花部会3月例会

鶴の花部会では三月十六日（木）、ビエント高崎を会場に、Zoomを併設した例会を開催しました。当日は、オープン例会ということもあり、女性に限らず会員経営者や一緒に働く社員なども交え、様々な立場の参加者で学び合いました。

今回の例会は「今、突然自分の身に万が一の事が起こってしまったら会社はどうする？」をテーマに、(有)小板橋産業・小板

橋哲也氏（富岡安中支部）、(株)ユニマーク・尾花靖雄氏（桐生支部）、関東防災工業(株)・宮崎慎司氏（前橋支部）の三名がパネラーとなり、(有)妙義ナバファーム・黛佐予氏のコーディネーターで、考えたくはないケースの事業継続について深掘りしていきました。

パネラーからは「後継者育成は考えていても、突然経営者（自分）がいなくなることは考えていなかった。例会の打診が考えるきっかけになった」、「いくつかではないケースに対応するため、相続など全て任せられる相談相手を見つけておくべき」といった考えが紹介されました。



パネルディスカッション後のグループ討論は、メンバーを変えて二回行い、今日の気づきを受けて明日から何をしていくのかを共有していきました。

ゼロからざぶDX戦略

高崎支部2月例会

二月十四日（火）、ビエント

高崎（Zoom併用）を会場に「高崎支部2月例会」を開催。ホームページ制作・IT導入支援などを手掛ける(株)ディーアイケイ、代表取締役・中川怜子氏（埼玉同友会）、課長・金井宏樹氏が報告者を務め、「ゼロから学ぶDX戦略」経営課題はDXで解決せよ」をテーマに、DXの基本的な解説や同社の経営



実践などを語りました。

「ITはツール、DXは変革」「競争優位性の確立」「顧客視点の新たな価値創造」などのDXの基本的な考え方をはじめ、その代表的な活用事例を紹介した両氏。続けて、中小企業のDXが遅れていることに触れた上で「対応しないと企業の市場価値が下がり続ける。経営者自らが主体的に取り組むことが大事」

と参加者に投げ掛けました。また、自社のDX推進によって生まれた新サービスや業務改善の紹介を踏まえて「新入社員も主体的に働けるようになり、人を生かす経営にもつながった」と語りました。

報告終了後は「なぜできない？ 中小企業のDX」をテーマにグループ討論を実施。「重要性は理解しているが、何から始めたら良いのか」「経営者の一歩踏み出す勇気が大事」「中小企業こそDXはチャンスと認識したい」など、活発な意見が交わされました。

環境を思う、未来を想う あらためて誓う 上武印刷

優れた環境適応性。
より高精細で美しい仕上がりに
「水なし印刷」システム

「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO₂を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷

オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/



高収益を実現する経営哲学

沼田支部2月例会

沼田支部では、二月二十八日(火)、利根沼田文化会館を会場に支部例会を開催。グリーンリーフ(株)、代表取締役・澤浦彰治氏が「高収益を実現する経営哲学」と題して、ダイヤモンドオンラインで配信された自身の講義動画の内容を報告しました。

農業の立ち位置や歴史、日本・東南アジアの人口推移、独自のマーケティング理論、経営指針書と評価制度など、複数回に分

けて配信された講義を例会内で紹介するため、割愛された部分もありましたが、それでも同社の躍進の要である澤浦氏の考え方に加え、経営指針書を活かすための評価制度・賃金制度の紹介は目を見張るものでした。

当日は沼田支部だけでなく他支部会員、県外の農業経営者も多数参加しました。

参加者アンケートには「背筋が伸びました。数字を深掘して



いきたい」「数値管理の方法に感銘を受けた。取り入れていきたい」「数値化し見える化することが重要」といった感想が綴られていました。

スマート運転術

桐生支部2月例会

二月二十二日(水)、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生支部2月例会」を開催。自動

車加工業のRS-K、代表・菊池裕介氏を招いて「スマート運転術」楽しく身につけやすい参加型講座」をテーマに、誰にでも使える自動車の運転技術を通じて学びました。

スマート運転術は、菊池氏の二〇年以上に及ぶモータースポーツ活動で培ったドライバリー・メカニク・エンジニアなどの経験・知識に、心理学や

人体工学を組み込んだ独自の理論。今回の例会では、安全かつ疲れにくい運転姿勢、人・車にやさしい操作方法、運転中の気持ちや心構えなどの講義が行われたほか、会場に設置した簡易の運転シートを使って、すぐに講義で学んだ内容を体験を通して身につけていきました。

参加者アンケートには「論理的な説明で分かりやすく、納得させられた」「今後の運転との向き合い方に生かしていきたい」「ちょっとしたことで疲労軽減や安全につながる」などの感想が綴られていました。

平成生まれの後継者は何を考えているか

富岡安中支部2月例会



富岡安中支部では、二月二十四日(金)、富岡商工会議所(Zoom併設)を会場に支部例会を開催。マツト・モップのリース・レンタル、清掃業を手掛ける(有)西毛リースキン・富田裕貴氏が「平成生まれの経営者は何を考えているのか」とのテーマで報告を行いました。

富田氏は会社紹介と自己紹介に続き、自身が理想とする会社や大切にしている考えを紹介。そのうえで、現在の会社の状況と富田氏が取り組んでいる改善策も報告しました。また、後継

者候補として抱える「コミュニケーション不足や世代交代でお客様が離れてしまうのでは」といった不安、今後の個人目標や一〇年後の会社像を語りました。

参加者アンケートには「一〇年後の成長が楽しみ。一緒に頑張りたい」「次代を背負う若い経営者の考え方が知れて良かった」「時代は変わってもコミュニケーションは不変。同じ言語で語り合えるよう勉強していこう」といった感想とエールが綴られていました。



持続可能な農業を

発展させます

伊勢崎・埼玉北部合同例会

二月二十一日（火）、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部・埼玉北部地区会合同例会」を開催。「持続可能な農業を発展させます」をテーマに、ブランド豚（むさし麦豚）生産・販売、畜産飼料加工・販売などの榊長島養豚、代表取締役・長島洋平氏（埼玉北部地区会）が自身の経営体験を報告しました。

本合同例会は年に一度の恒例行事として、回を重ねること

十二回目。コロナ禍の影響で二年前は中止、昨年はオンライン開催でしたが、三年振りに一堂に会しての開催となりました。長島氏は、昨年の経営指針づくりセミナーに参加し、報告テーマでもある「持続可能な農業」に向けた思いを経営理念として成文化。その理念に沿って進める循環型農業や労働環境の改善、六次産業化の取り組みなどを紹介しました。報告の最後

には「社員が誇りの持てる会社づくり」「自社堆肥を活用した野菜生産」「むさし麦豚を日本を代表するブランド豚に」などの十年ビジョンと、その達成に向けた決意を語りました。

報告後は「自社の商品・サービスを持続可能にするためには？」をテーマにグループ討論を実施。その後の懇親会を含めて、支部・地区会の垣根を超えた活発な意見交換や交流が図られました。

人材育成シリーズ例会

前橋支部2月例会



前橋支部では、二月二十二日（水）、アメイジンググレイス前橋を会場に支部例会を開催。「人を生かす経営を体現する社員さんとの関わり方」とのテーマで、ZstEducation、代表・高屋敷奈央氏が講師を務め、脳科学に基づいた心理学の視点で日々のコミュニケーションで使える面談方法を学びました。

脳科学的に「人間の意識は五段階に分かれる（今回は頭在意識まで）」と言われていることから「環境レベル、行動レベル、能力レベル、信念・価値観レベル、自己認識レベル」の五つの

レベルの順番に沿って質問をしていくことで、より深いコミュニケーションに繋がるとの説明を受けた後、ワークシートに沿ってペアワークを行い、質問の順番と内容を確認していきま

した。参加者アンケートには「時間が足りない程、実のあるワークになった」「質問の流れをしっかりと頭に入れて生かしている事。」「自分が大切にしている事。やるべき事が明確になった」といった感想が記されていました。

限りある資源を、次世代へ。

株式会社エスティビー
Stability Topline Business Co., Ltd.

経営理念（存在意義・目的）「**絶やさぬために**」

私たちは、動脈・静脈の循環型物流力で、人と社会の生命活動を支え続けます。

〒379-2123 群馬県前橋市山王町 1-19-14 TEL: 027-212-3312 FAX: 027-266-8288

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせ自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2

TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102

URL <http://kk-sanei.net/>

丸見えな経営課題 パートⅡ

太田支部2月例会



太田支部では、二月十七日(金)、テクノプラザおたを会場に支部例会を開催しました。

「丸見えな経営課題、取り組み事例パートⅡ」繋がり始めた経営陣の想いを経営理念へ」と題して、(有)神保商会・神保豊氏(太田支部長)が、十月例会以降の取組みを報告しました。十月の報告終盤に語った「会社、社長の支えになる」との宣言を実行するにあたり着手した経営理念の策定。会長、社長への経営姿勢についてのアンケートから初の三者会談の開催と「地道な行動が少しずつ経営陣の中に浸透していった」と言い

ます。

全員が納得する経営理念とまではいきませんでした。が、会長・社長からは「定期的に三人で話し合う場を開きたい」と言われるなど、「三人のベクトルが揃い始めた事を肌で感じている」と語りました。

参加者アンケートには「専務の立場で経営理念作成に着手した勇氣ある行動は素晴らしい!」「会長、社長、社員さんが羨ましく思える行動と成果だった。継続して頑張るって貰いたい」といった感想が綴られていました。

事業承継に向けた社内改革

渋川吾妻支部2月例会

二月二十四日(金)、渋川公民館を会場に「渋川吾妻支部2月例会」を開催。コンクリートブロック製造販売の(株)コモチ、専務取締役・齋藤和子氏(渋川吾妻支部)が「事業承継に向けた戦略的な社内改革」一〇〇年企業(永続企業)を目指して」をテーマに経営体験を報告しました。

創業者の娘として、あるいは現社長(夫)を支える専務として、事業を受け継ぐ立場から様々な苦労に直面してきた齋藤氏。あるセミナーを受講し、自身の目標・人生ビジョンを明確にしたことで「親子関係・夫婦関係が劇的に改善した」と言います。また、目標・人生ビジョンを基に「社員の幸せ」を主とした経営理念を成文化し、その理念に沿った採用活動や人材育成、評価制度の導入に取り組んでいる現状を紹介。最後に「自分が引退するまでに、次の世代が安心して引き継げる会社

にしたい」と語りました。

報告終了後は「身近な人との関係でいたいのか?」をテーマにグループ討論を実施。「中小企業は家族関係が業績にも影響する」「気持ちよく社員が働ける環境づくりをすすめたい」「身近な人は自分を映す鏡。自分が変わらなければ良好な関係は築けない」など、活発な意見が交わされました。



群馬中小企業家同友会 50周年記念フォーラム【第51回定時総会】

●講演テーマ

絶対にあきらめない! 銚子電鉄存続への挑戦

～預金残高50万円、負債2億円の銚子電を立て直すには、アイデアを売るしかない～

講師

銚子電気鉄道株式会社

代表取締役

竹本 勝紀氏

(千葉県中小企業家同友会)



●開催概要

◆日時: 2023年 4月21日(金) 12:30受付 13:00~20:00

◆会場: Gメッセ群馬メインホール
TEL 027-322-2100
高崎市岩押町12-24

◆参加費: 一人3,000円 交流会参加: 別途5,000円

◆対象: 会内外の経営者及び幹部社員

◆主催: 群馬中小企業家同友会

◆後援: 群馬県 群馬県産業支援機構 群馬県商工会議所連合会
群馬県商工会連合会 群馬県中小企業団体中央会 上毛新聞社

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【生徒が肥育の黒毛和牛販売】

(株)サンモール

沼田市とみなかみ町でスーパーを展開する(株)サンモール(取締役常務・藤野晃嗣氏/沼田支部所属)は26日、利根実業高の生物生産科生物資源コースの生徒が肥育した黒毛和牛の肉を全店で販売する。

販売されるのは、1月に東京都で開催された「和牛甲子園」(全国農業協同組合連合会主催)に同校が出品した去勢牛2頭分。同大会の和牛枝肉共助会で、それぞれA4ランクの評価を得た。[2/18付上毛]

【人材マッチング支援へ協定】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中支部所属)は、公益財団法人の産業雇用安定センター群馬事務所と連携に関する協定書を結んだ。取引先企業の人手不足などの課題について同センターと共有し、人材マッチングを支援する。

同センターは再就職・出向を支援しており、人材を送り出す企業と受け入れる企業の橋渡しを無料で行っている。同金庫が人手不足に悩む取引先企業に対して、同センターを紹介したり、センター職員に同行してヒアリングを行ったりする。[2/22付日経]

【米バイヤー視察】

茂木食品工業(株)

本県特産のこんにゃく製品の輸出拡大に向け、日本貿易振興機構・群馬貿易情報センター(ジェトロ群馬)は、米国の現地系スーパーの仕入れ担当者を招いた視察イベントを開いた。西毛地域の製造業者3社を巡り、生産設備や原材料の状況を確認した。

米国テキサス州に展開する高級スーパー「セントラル・マーケット」のエリック・ビールスキーさんが、ツトム食品と下仁田物産センター工場、茂木食品工業(株)(代表取締役・茂木進氏/富岡安中支部所属)を視察した。[2/25付上毛]

【海外シェフら発酵食に興味】

(有)下仁田納豆

旧中山道沿いなどで発達した発酵食文化を語る国際プログラムが24~27日、本県などで開かれた。イタリア、スペイン、フィンランド、タイから一流シェフや食文化研究者ら計16人が参加。しょうゆ、日本酒、納豆といった日本の伝統的な発酵食や循環型農業について学んだ。

27日はしょうゆ製造の有田屋や牧野酒造、(有)下仁田納豆(代表取締役・南都隆道氏/富岡安中支部所属)を訪問した。[2/28付上毛]

【投資専門子会社を開業】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中支部所属)は1日、100%出資の投資専門子会社を開業したと発表した。投資子会社が組成・運営するファンドの出資により、取引先企業の事業承継などの経営課題に取り組む。同信金によれば、投資子会社を設立するのは北関東の信金では初で、全国的にも珍しいという。

社名は「しのめキャピタル」で設立日は1月26日、資本金は3000万円。2023年上期中には第1号となるファンド設立を目指すという。第1号ファンドの組成額は未定。[3/2付日経]

【新校舎公開】

新島学園短期大学

新島学園短期大学(学長・岩田雅明氏/高崎支部所属)の新木造校舎の講堂が5日、特別公開された。透かし彫りから木もれ日のような柔らかな光が注ぐ新校舎に来場者が目を見張った。

新校舎は2020年6月に完成。著名な建築家である手塚建築研究所の手塚貴晴さんと手塚由比さんが設計を手がけた。旧約聖書に登場する「エデンの園」から着想し、「優しく守ら

れた学びやから、学生が厳しくも自由な実社会へ旅立っていく」というストーリーを建物に込めたという。

[3/6付上毛]

【仏展示会に初出展】

加栄レース(株)

カーテンや服地製造などを手掛ける加栄レース(株)(代表取締役・佐藤真人氏/桐生支部所属)は、パリで1月に開かれた世界有数のインテリア・デザインの展示会「メゾン・エ・オブジェ」にラメニット生地を用いた商品を展覧した。同社が同展示会に出展するのは初めて。これをきっかけに、ラメニット商品の海外需要開拓を狙う。

加栄レースは小林ニットが製造するラメニットを活用した「TRICOLUM(トリコリウム)」というブランドで、クマのぬいぐるみなどを展開している。小林ニットのラメニットは、生地にラメの糸が編み込まれており、見る角度で輝きが変化する特長がある。

トリコリウムの国内の売り上げは年間1500万~2000万円だが、海外向けはほとんどないという。今回の出展では海外のバイヤーから好評だったようで、加栄レースの佐藤真人社長は「3年後には海外で年間1000万円程度の売り上げを目指したい」と話す。[3/8付上毛]

【ZEH事業を本格化】

(株)スカウ

住宅リフォームの(株)スカウ(代表取締役・須川光一氏/高崎支部所属)は、エネルギー消費量の収支をゼロにする「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH、ゼッチ)」仕様など、省エネ住宅にリフォームする事業を本格化させる。全体改修に比べて安価に施工できる部分改修を提案し、子どもが独立した高齢夫婦世帯らを取り込む。

須川社長は「住環境が快適になるだけでなく、温度差によるヒートショックの防止や光熱費の抑制にもつながる」と話している。[3/10付上毛]

【DXサービス】

利根郡信用金庫

利根郡信用金庫(理事長・坂井隆氏/沼田支部所属)は、中小企業のDXを実現するサービス「とねしんケイエール」の提供を始めた。インボイス制度に対応した電子請求書作成や勤怠管理、経費精算などに対応する。複数金融機関の入出金履歴を一括管理するなどの追加機能もある。利用料は月額2千円から。[3/16付上毛]

【卒業式 学びやに感謝】

新島学園短期大学

新島学園短期大学(学長・岩田雅明氏/高崎支部所属)は15日、同市文化会館で卒業証書・学位記授与式を行った。4年ぶりに卒業生一人一人がステージに上がり、学びの証しを受け取った。

卒業生はキャリアデザイン学科96人、コミュニティ子ども学科35人の計131人。岩田学長は式辞で「なりた自分という希望の光に向かって確かな歩みを続けて」と激励した。[3/16付上毛]

【高崎に屋内練習場】

(株)グリーンウッド

ゴルフ練習場運営の(株)グリーンウッド(代表取締役・有賀正起氏/高崎支部所属)は16日、本社機能を兼ね備えた屋内練習場「Wone(ワン)インドアゴルフ」を同所に全面開業した。周囲がネットに覆われた一般的な屋外施設と異なり、室内でスクリーンに映し出された画面のコースに向かってボールを打つ。上達につなげるために必要な正しいフォームの習得に向け、最新機器がサポートする。

有賀社長は「ゴルファーにとって理想の建物ができた。自分のスイングの癖や欠点もその場で分かるので、技術向上につなげてほしい」と呼び掛ける。[3/17付上毛]

【取締役会長就任】

(株)後藤鉄工、代表取締役・田島康助氏(伊勢崎支部所属)は、この度、「取締役会長」に就任しました。

第11回

理事会報告

日時 三月七日(火)

※今回も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事／田村、町田、杉崎、阿久戸、理事／吉池、提箸、本多、小林、榎原、佐藤、渡辺、小池、佐藤、周藤、神保、金子、金井、佐藤、高屋敷、瀧澤、茂原、齋藤、布施、村岡、中西、関口、浅井、小板橋、相談役／澤浦、事務局／阿久澤、竹内(役員計二十八名)

【議事】

杉崎副代表理事が議長をつとめ、田村代表理事挨拶のもと、第十一回理事会開催。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告

各組織担当者より、活動報告や今後の計画、依頼事項などがありました。

2. その他

第五十三回中小企業問題全国研究集会(長野)の報告が、参加者二名(阿久戸氏・吉池氏)よりありました。

II. 審議・承認事項

1. 後援依頼

第二十一回群馬県障害者技能競技大会(ぐんまアビリンピック二〇二三)の後援依頼を承認しました。

2. 五〇周年記念フォーラム(第51回定時総会)について

佐藤実行委員長より、実行委員会・正副支部長会で話し合われた内容、会場下見の報告がありました。

また、各支部の参加目標(動員依頼)、全国行事のPR時間確保について提案され、これを承認しました。

3. 新年度スローガン案・重点方針案・部門方針案の決定について

前回の意見交換を踏まえ、再検討したスローガン・重点方針案が総務会から提案され、これを承認しました。

また、部門方針案については

各組織担当者から説明・提案があり、これを承認しました。

4. 今年度活動報告案の決定

二〇二二年度の活動報告案について検討し、これを承認しました。

5. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者四名、退会者一名を承認。会員数は五三五名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

賃上げ気運の高まりや物価高などを踏まえ「各企業の給与に対する考え方と、その対策」をテーマに、グループ討論で率直な意見交換が行われました。

2. 第十二回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長選出は桐生支部に依頼しました。

■日時／四月四日(火)

■会場／同友会事務所

＋ウエブ(併用)

新会員ご紹介

3月度常任理事会承認

会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

前橋支部

風の詩法律事務所



弁護士
川住 岳 央
S57年生

〒371-0046 前橋市川原町1-57-3
TEL: 027-219-0200
FAX: 027-219-0210
法律業務全般

【紹介者／萩原隆史】

依頼者様の「納得のいく解決」を重視した業務を行っています。取扱い分野は、民事事件全般です。法的に不安に思うことがあれば、まずはお気軽にご相談ください。皆様と交流させていただく中で、多様な価値観に触れられることを楽しみにしております。よろしくお願いします。

前橋支部

(株)サンネット



今 庄 春 景
H5年生

〒371-0817 前橋市ぬで島町161-5
TEL: 027-290-3800
FAX: 027-290-3233

祭典業向けコンテンツ制作とシステム販売、映像コンテンツ制作の企画・撮影・編集
映画鑑賞、ゴルフ

【紹介者／町田英之】

遺影写真制作をはじめとした写真加工、イベント／企業PR映像コンテンツ制作をおこなっています。個人的には群馬に来てまだ3年程度のため、会員の皆さまと共に学び、様々なことを勉強していきます。よろしくお願いします。

高崎支部

リストラテ・パティスリー シムラ



志 村 純 子
S37年生

〒370-0018 高崎市新保町251
TEL: 027-362-9222
FAX: 027-362-9222
フランス料理、フランス菓子
食べる事、スポーツ

【紹介者／朝岡伸江】

高崎市新保町で、フランス料理・フランス菓子を営んでおりますリストラテ・パティスリーシムラの志村純子と申します。学びの多い同友会に入会させて頂き、感謝と共に自社のブラッシュアップをしていけたらと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

太田支部

(有)浜岡製作所



取締役統括部長
濱 岡 航 平
H5年生

〒379-2213 伊勢崎市五目牛町310
TEL: 0270-62-1249
FAX: 0270-63-1227

精密プレス加工、板金加工、溶接加工
読書、改善、観察

【紹介者／鷹巣 修】

「世界中の人々が笑顔で暮らせる世界を創ること。」これが私の夢であり、ビジョンであり、信念です。たとえ私が生きてい間に実現できなくても、いつか実現する日がくると信じて、その日のために様々なことに挑戦使用したいと思います。